

小久保みどり先生をお送りするにあたって

経営学部教授 金森 絵里

小久保みどり先生は、2023年3月末をもって退職されることになりました。小久保先生は、1996年のご着任以来27年間にわたって、経営学部、経営学研究科、および立命館大学の発展に大きく寄与されました。このご功績に対して深甚の謝意を表しつつ、経営学部ではこの『立命館経営学』をご退職記念号として謹呈させていただきます。本来であれば学部長がこの挨拶文を執筆されるところではありますが、小久保みどり先生ご自身が学部長でいらっしゃるため、僭越ながらご縁をいただいてここにご挨拶を申し上げます。

小久保先生は、1981年に東京大学文学部社会心理学科をご卒業され、(株)富士通に入社し1989年まで勤められました。1991年に東京大学大学院社会学研究科社会心理学専攻修士課程を修了され、奈良大学社会学部助手をへて、1996年に立命館大学経営学部助教授として着任、2003年に同教授に昇進されました。爾来、経営組織論を中心とする専門科目を担当され、大学院における研究指導も含めて熱心に学生の教育にあたられました。

小久保先生は、社会心理学の視点から組織を分析するご研究に長年取り組まれ、日本社会心理学会、日本心理学会、産業・組織心理学会、経営行動科学学会、日本グループ・ダイナミックス学会、組織学会等で研究成果を報告されてきました。近年では、緊急事態が起きた時、組織特にリーダーがどのように対応したら効果的なのかというご研究をはじめ、ジェンダーとリーダーシップに関わる現象や、非正規従業員のマネジメントなどについてもご研究を進めていらっしゃいます。産業・組織心理学会では「産業組織心理学」編集委員を務められ、その発展に貢献されました。さらに滋賀県新行政システム推進委員会委員や草津市勤労者福祉施設運営審議会委員にも就任されました。

大学運営面では、学生主事（1998年度）、夜間主主事（2000年度）、入試担当主事（現・入試担当副学部長相当）（2003年度）、大学院担当副学部長（2007年度と2016年度）などを歴任し、経営学部の発展に尽力されてきました。2019年からは4年間にわたり経営学部長・経営学研究科長・学校法人立命館理事・評議員としてご活躍されています。

小久保先生は上記のように教育、研究、行政面でさまざまなご貢献をされてこられました。とりわけ、経営学部で初めての専門科目の女性教員として道を切りひらき、初の女性学部長に選出されるなど、学部内の女性教員の地位を確固たるものに築いてくださいましたことが特筆されます。小久保先生は、強さとともに、優しさ、しなやかさ、公平さを兼ね備えておられ、私たちに模範を示してくださいました。男女問わず学生や院生そして同僚からの信頼は厚く、女性教員にとっては先輩として、上司として、友人として、研究者として、小久保先生は憧れの存在です。改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、小久保先生におかれましては、いつまでもご健康でご活躍されますよう祈念申し上げますとともに、今後ますますのご研究の発展を願ってやみません。